

希望

第1号
平成28年10月10日
出水市立西出水小学校
志貴 歩子
溝口 貴子

What's 国連?



何をしている所なの??

世界には、親自身が教育を受けなくて大人になつたため、子供にも教育を受けさせることの大切さを理解できないでいることが多いです。そうした親の多くが生活のために子供を働かせてしまっている。幼い妹や弟の面倒を

国連の目的は世界の平和と安全を維持すること、飢えや貧困環境破壊、麻薬など世界ががにかかっている問題に取り組み、解決を計ることです。国連や国連関係の機関で働く人々を国際公務員と言います。

専門職員は、国連本部や各国機関で中心的なはたらきをしています。フィールド専門家は、農業指導、識字の指導、子供に予防接種をしています。

見るための学校に行けない子供達。世界各地で起きている争いや戦争。その結果生まれるさまざまな

世界の子供達が直面している問題

①子供の病気 ②子供の

な人権侵害、差別や迫害など守られていない国が世界にはたくさんある。

一般職職員の仕事は、専門職のもとで、秘書、タイピスト、運転手などの仕事をしています。

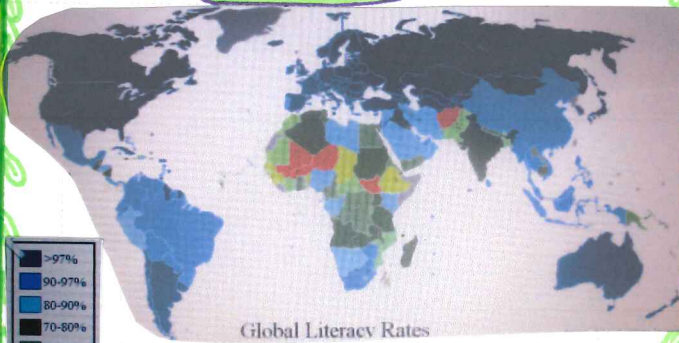
日本と世界のわ

日本は過去に何度か戦争をしてきました。第二次大戦では、多くの人が死に両親を失なつた子供がたくさんありました。しかし、世界の優しい人達がこまづいてくれるのを助けて

労働 ③戦争でまきこまれる子供達 ④子供の売春、買春、子供の労働について。世界中には、貧困や教育を受けられなかったせいで、働かなくてはならない子供達が約二億五千万人もいます。

世界には、国の政治の混乱や貧困など、さまざまな理由で学校に行けなかったため、大人になつても読み書きのできない人達が十百万人、約五十九百万人の子供達が学校に通えません。

世界の識字率



<https://ja.wikipedia.org>より

ました。日本の子供達もミルクをもらい、菓をもらいました。私達日本人は、世界のあたたかい心に助けられました。第二次大戦が終わる一九四四年、アメリカ

一九九〇年でした。このコンクールに出すきっかけとなったのは偶然に見たテレビでした。九月三日、『地球ドラマチック』レンガを運び続けてバンブーデシの子どもたちは今。日本ではありえない世界です。主人公の十一歳の少女タジンは、家族を支えるためにきびしい環境の下で働いています。以前は、学校に通い、成績も良かった。今は毎日重いレンガを頭上にのせ運びます。十一歳の少女には、八個のレンガが一杯。子供はタジンだけでなく、レンガを運ぶ子供は他にもいました。土ぼこり、汚れた顔には重さで苦んでできた深いしわがありました。タジンは十二時間運び続けて、千個運んでも百円足らずの収入です。世界中の子供達が教育を受けられたいと思いました。

参考文献
『国連のしくみ』はたらき方、リポート出版
『世紀をこえる国際組織、識事典』岩崎書店
インターネット
七億七千万人が文盲を脱したい
識字率による国順リスト